

平成 16 年度普及に移す技術

- [普及に移す技術名] シンテッポウユリ「ホワイトランサー」の6~7月出荷作型
- [要約] シンテッポウユリ「ホワイトランサー」の苗齢2~3葉苗を2月上旬に定植することで、7月上旬に品質の高い切り花が採花できる。さらに、4月上旬から電照することで、6月下旬に採花できる。
- [キーワード] シンテッポウユリ、7月出荷、無加温
- [担当] 福井農試・園芸バイテク部・野菜・花き研究グループ
- [連絡先] 電話 0776-54-5100、電子メール h-sakamoto-ve@ain.pref.fukui.jp
- [分類] 参考
-

[背景・ねらい]

本県では通常5月~6月中旬にテッポウユリ、8月~9月にシンテッポウユリが出荷されているが、両種の端境期である6月下旬~7月に出荷できる作型の確立が望まれている。そこで、シンテッポウユリを利用して、無加温栽培による6月下旬~7月出荷作型を目指す。

[技術の内容・特徴]

1. 品種は採花率と切り花品質が高い、「ホワイトランサー」が適している(表1)。
2. 12月上旬に播種して、2月上旬に定植することで、7月上旬に3~5輪花率が高い品質の良い切り花が得られる(表2)。
3. 苗齢2~3葉の定植苗を用いることで、採花率と切り花品質の高い切り花が得られる(表3)。

[技術の活用面・留意点]

1. テッポウユリやシンテッポウユリの端境期に出荷できるため、ユリ農家の作期拡大に利用できる。
2. 「ホワイトランサー」は生育が旺盛なので、施肥量は窒素、リン酸、加里とも、20kg/10a程度とする。
3. 2月上旬定植作型は厳寒期の育苗となるため、温床等による加温育苗を行う。
4. 2~4月にかけて灰色かび病の発生が見られるため、適時防除する。

[具体的データ]

表1 品種の特性

品種名	採花率 (%)	開花日	切花長 (cm)	葉数 (枚)	花数	切花重 (g)	評価*
さきがけ雷山	92	7月4日	161	73	4.6	250	
ホワイトランサー	92	7月6日	173	80	5.0	229	
早池峰	55	7月25日	171	82	2.5	178	

*: さきがけ雷山 上向き花で葉姿やや劣る、ホワイトランサー 上向き花 草姿良い、早池峰 横向き花 草姿大きい
 播種日: 2001年11月20日、定植日: 2002年2月4日 無加温ガラス室栽培

表2 定植日が開花と切り花品質におよぼす影響

定植日	開花日	採花率 (%)	切花長 (cm)	葉数 (枚)	花数	3~5輪 花率(%)	切花重 (g)	茎径 (mm)
12月5日	7月6日	113	179	109	6.1	43	300	9.8
1月5日	7月5日	86	187	103	5.5	40	279	9.1
2月5日	7月5日	88	162	64	4.2	79	222	8.9
3月5日	7月9日	88	135	48	3.3	61	150	8.2

供試品種: ホワイトランサー、播種日は定植の2ヶ月前、無加温ガラス室栽培栽培年、2002~2003年

表3 苗齢が開花と切り花品質におよぼす影響

苗齢* (葉)	採花率 (%)	開花日	切花長 (cm)	葉数 (枚)	花数	切花重 (g)
1	67	7月7日	136	48	2.7	130
2	92	7月6日	173	80	5.0	229
3	92	7月4日	181	78	5.7	255

*: 1葉 2001年12月20日 2葉 11月20日 3葉 11月6日播種、定植日: 2002年2月4日

供試品種: ホワイトランサー 無加温ガラス室栽培

表4 電照処理が開花と切り花品質におよぼす影響

電照 処理	採花率 (%)	開花日	切花長 (cm)	葉数 (枚)	花数	切花重 (g)	茎径 (mm)
有*	117	6月25日	163	54	4.5	197	7.9
無	92	7月4日	181	78	5.7	255	9.1

供試品種: ホワイトランサー、播種日: 2001年11月6日、定植日: 2002年2月4日

*電照方法: 2002年4月5日~6月4日まで4時間暗期中断 無加温ガラス室栽培